

辰の口

洋野町小子内にある、小子内浜漁業協同組合の建物の東側。

砂浜に降りていくと岸壁に龍の顔が見えてきます。

現在は、波に洗われ少し分かりにくいかもしれませんが、昔の写真を見ると、まさに龍！

これからも波に削られていくでしょうから、龍の形を見られる今のうちに見に行ってみませんか？



赤線でなぞった部分が龍の顔です。

下の昔の写真では、目や口まではっきり分かりますね！



<辰の口にまつわる昔話>

昔は、この岩場の上が野原になっていて、山菜のワラビやゼンマイがたくさん生えていたそうです。

村人の一人が、日が暮れるのも忘れてワラビを採っていたところ、下の方から「こらあ、ワラビを採っているのは誰だあ！」とお腹に響く大きな声が聞こえてきた。周りを見回しても誰もいないので、空耳だったかと思い、またワラビ採りを再開した。夢中になりワラビを採っていると、「こらあ、こらあ、おらほのワラビを採っているのは誰だあー！」と同じ声がする。また、周りを見渡すが誰もいないので、不思議に思いながらも、ワラビを採り続けていた。そうしたら、今度は「こらあ、こらあ、おらほのワラビをいつまでも採っているのは誰だあ！」と叫ぶような声が聞こえてきた。村人はさすがに恐ろしくなり、採ったワラビも全部投げ捨てて、家に飛んで帰り、震えながら夜を明かした。翌朝、何人かの仲間と一緒に浜に行ってみると、岩が龍の口のように大きく開いていたという。

そこで、小子内の人たちは、その場所を「辰の口」と名付け、そこでワラビなどの山菜を採ってはいけないと伝えることにしたそうだ。